

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部	福祉部	課	高齢福祉課
---	-----	---	-------

施設名称	〔15〕 東京都台東区立特別養護老人ホーム谷中					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31		
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム浅草・特別養護老人ホーム千束・特別養護老人ホーム三ノ輪					
(3)経営状況	(27年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,816,804,521円,歳出2,832,987,406円,収支差額-16,182,885円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区谷中2-17-20					
(2)設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3)利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者					
(4)開館日・時間	通年、24時間					
(5)規模	延べ床面積 2,794.36㎡のうち2,351.4㎡ 鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階 居室、食堂、浴室(機械浴、一般)、静養室、ボランティア室、談話室など					
(6)人員体制	22名 内訳...施設長(1)、事務員(1)、相談員(3)、介護職員(常勤13、非常勤0)、看護職員(3)、栄養士(1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助{食事、介護(排泄・入浴援助)}、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	44,055,200	44,232,650	39,514,000	41,455,000	44,037,264
	利用料金収入	236,300,000	240,731,000	239,976,000	239,999,000	234,167,000
	その他収入	11,679,800	6,652,350	10,543,000	6,455,000	10,725,736
	管理経費	292,035,000	291,616,000	290,033,000	287,909,000	285,552,000
決算	委託料	44,038,400	44,204,930	39,514,000	41,449,000	44,037,264
	利用料金収入	232,781,238	234,093,507	233,309,618	233,091,857	205,644,037
	その他収入	10,555,999	16,832,181	6,352,694	6,455,141	49,190,078
	管理経費	266,465,409	270,621,176	270,463,449	275,870,437	275,051,980
	収支	20,910,228	24,509,442	8,712,863	5,125,561	23,819,399
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
入所定員(ショートステイ含む)	人	56	56	56	56	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(29年度)	25年度	26年度	27年度	
利用率(特養+ショート)	%	85	97.9	97.5	83.2	
利用者数(特養+ショート)	人	17,400	20,009	19,925	17,047	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

特別養護老人ホームとしての通常業務に加え、平成28年7月から施工中の大規模改修工事に関連し、入所者やご家族の協力を頂きながら、他特養への入所者移転や施設の引越業務等の準備を行った。現在は、開設準備室を中心に再開に向けた準備作業を進めている。

8. 評価項目  
 3：協定等の水準を上回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。  
 0：協定等の水準を下回っている。  
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [3]	(g)自主事業の成果 [2]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価  
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	改修工事に向けた入所者移転の際は、ご家族に丁寧な説明を行うと共に、移転先の特養と密に連絡調整を行い、円滑に全入所者の移転を完了した。また、施設内で褥瘡予防ケアに取り組み、研究発表の結果、東京都福祉保健局局長賞を受賞した。
(2)施設の維持管理	A	業者委託している清掃業務や警備業務等について、日々業務日誌を確認したり、適宜連絡会議を開催するなど適切に施設管理をしている。
(3)利用者の満足度	A	改修工事に伴う入所者移転の影響で利用率は減少したが、利用者満足度調査の結果は概ね好評であった。ご家族の要望や苦情だけでなく、介護相談員からの助言等も、「サービス向上委員会」などの施設内の会議で情報を共有し改善につなげている。
(4)収入支出	A	改修工事に伴う入所者移転の影響で利用料金収入は減少したが、空床をショートステイに積極的に活用したり、入所者の移転状況に合わせ、使用する居室やフロアを縮小し、管理経費を効率化する等、適切な予算執行に努めた。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>妥当</b>	改修工事に伴う入居者の移転業務や引越作業の他、地元町会・近隣住民の方々への対応も適切に行っている。また、褥瘡予防ケアに施設全体で取り組み、東京都福祉保健局局長賞を受賞するなど、さらなるサービス向上に向け、積極的に取り組んだ。
-----------	--

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

改修工事の影響により、平成28年度及び29年度当初の利用率は減少が見込まれるが、また多くの方に特別養護老人ホームを利用していただけるよう、スムーズな運営再開に向け、引き続き準備を進めていく。また、今後も施設全体でサービスの向上に向けた取り組みを積極的に行っていく。